森ノ宮医療大学

学　　則

第一章　　目的
第二章　　自己点検評価及び第三者評価
第三章　　学部・学科等及び附属施設
第四章　　学年、学期及び休業日
第五章　　修業年限及び在学年限
第六章　　入学
第七章　　教育課程、履修方法等
第八章　　休学、復学、転学、退学及び除籍
第九章　　卒業及び学位
第十章　　科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴講生及び外国人留学生
第十一章　職員組織
第十二章　教授会、各種委員等
第十三章　入学検定料、入学料、授業料等
第十四章　賞罰
第十五章　大学開放及び生涯学習事業
第十六章　雑則

第一章　目的

（目的）

第１条　豊かな感性と高い倫理観に加え、チーム医療の実践に求められる幅広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション能力を有する専門職医療人を育成する。疾病の予防と治療や健康の維持と増進に有用な科学的根拠を示し、現代医学と伝統医学の双方を尊重した特色ある教育研究活動によって医学と医療の発展に寄与し、広く社会に貢献する。これをもって、専門職業人養成と社会貢献の機能を果たす。

第二章　自己点検評価及び第三者評価

（自己点検評価及び第三者評価）

第２条　本学は、教育水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育･研究･組織･運営･施設及び設備の状況について、自己点検評価を行う。

２　自己点検評価に関する必要な事項は別に定める。

３　本学は前項の措置に加え、その教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。

４　自己点検評価および第三者評価の結果を公表するものとする。

（情報の積極的な公開）

第３条　本学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって積極的にその情報を公開するものとする。

第三章　学部・学科等及び附属施設

（学部、学科、入学定員及び収容定員）

第４条　本学に保健医療学部鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、臨床検査学科、作業療法学科及び臨床工学科を置く。

２　前項の学科の学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
保健医療学部	鍼灸学科	60	240
	理学療法学科	70	280
	看護学科	90	360
	臨床検査学科	60	240
	作業療法学科	40	160
	臨床工学科	60	240

合計		380	1520

３　保健医療学部鍼灸学科に鍼灸コース及びスポーツ特修コースを置く。

４　鍼灸コースは、入学定員４０名、収容定員１６０名とし、スポーツ特修コースは、入学定員２０名、収容定員８０名とする。

（学部及び学科の目的）

第４条の２　保健医療学部は、大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的とする。

２　鍼灸学科鍼灸コースは、専門職医療人として、豊かな人間性、専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

３　鍼灸学科スポーツ特修コースは、鍼灸コースと同様の人間性や知識、技術を身につけることに加え、保健体育に関する専門知識を修得し、実践的指導力を持つ人材の育成を目的とする。

４　理学療法学科は、科学性を持ちつつ人に優しい理学療法と、チーム医療を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

５　看護学科は、チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術ならびに医療人としての態度を身につけた人材の育成を目的とする。

６　臨床検査学科は、生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理観と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することができる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

７　作業療法学科は、チーム医療とクライエント中心の作業療法を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

８　臨床工学科は、チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

(大学院)

第４条の３　本学に大学院を置く。

２　大学院に関する規則は別に定める。

(専攻科)

第４条の４　本学に次の専攻科を置く。

（１）　助産学専攻科

２　専攻科に関する規則は別に定める。

（附属施設）

第５条　本学に次の附属施設を置く。

（１）　附属図書館

（２）　附属臨床実習施設

２　前項の附属施設に関し必要な事項は別に定める。

第四章　学年、学期及び休業日

（学年）

第６条　学年は４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

（学期）

第７条　学年を次の２学期にわける。

（１）　前期４月１日から９月３０日まで

（２）　後期１０月１日から３月３１日まで

（休業日）

第８条　休業日は次のとおりとする。

（１）　土曜日及び日曜日

（２）　国民の祝日に関する法律に規定する休日

（３）　春期休業日３月２１日から３月３１日まで

（４）　夏期休業日８月１１日から９月３０日まで

（５）　冬期休業日１２月２５日から１月７日まで

２　学長は前項の規定に関わらず、特別の必要があると認めるときは、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更し、若しくは休業日に授業を行うことができる。

第五章　修業年限及び在学年限

（修業年限）

第９条　本学の修業年限は４年とする。

（在学年限）

第１０条　学生は８年を超えて在学することはできない。ただし、第１６条、第１７条、第１８条の規定により入学した学生は、第１９条の規定により定められた在学すべき年数の２倍に相当する期間を超えて在学することができない。

第六章　入学

（入学の時期）

第１１条　入学の時期は学年の始めとする。

２　ただし、第１６条、第１７条、第１８条の規定により入学する場合及び特別の必要があり、かつ、教育上支障がないと認められる場合は、学期の始めとする。

（入学資格）

第１２条　本学に入学することができる者は、次の各号の一つに該当する者とする。

（１）　高等学校を卒業した者

（２）　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに該当する学校教育を修了した者

（３）　外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

（４）　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

（５）　文部科学大臣の指定した者

（６）　高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

（７）　前各号に定める者の他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者

（入学の出願）

第１３条　本学に入学を志願する者は、本学指定の期日までに、入学願書に入学検定料を添えて学長に提出しなければならない。

（入学者の選考）

第１４条　前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

（入学手続き及び入学許可）

第１５条　前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学料及び学納金を納付しなければならない。

２　学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

（編入学）

第１６条　学長は、編入学を志望するものがあるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に編入学を許可することができる。

２　本学に入学することができる者は、次の各号の一つに該当する者とする。

（１）　大学及び短期大学の課程を卒業した者か、卒業見込みの者

（２）　高等専門学校の課程を卒業した者か、卒業見込みの者
（３）　学校教育法第八十二条第十項に定める専修学校を卒業した者か、卒業見込みの者

（転入学）
第１７条　学長は、他の大学に在籍しているもので、本学への転入学を志願する者があるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

（再入学）
第１８条　学長は、再入学を志願する者があるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

（編入学等の場合の取扱い）
第１９条　第１６条、第１７条、第１８条の規定により入学を許可された者が既に修得した授業科目及びその単位数の取扱い、履修すべき授業科目並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴き、学長が決定する。

第七章　教育課程、履修方法等

（教育課程）
第２０条　本学の教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。
２　鍼灸学科鍼灸コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第１のとおりとする。
３　鍼灸学科スポーツ特修コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第２のとおりとする。
４　理学療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第３のとおりとする。
５　看護学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第４のとおりとする。
６　臨床検査学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第５のとおりとする。
７　作業療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第６のとおりとする。
８　臨床工学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第７のとおりとする。

第２１条　授業は、講義、演習、実習のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

第２２条　本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（単位の計算方法）

第２３条　各授業科目の単位数は、１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

（１）　講義及び演習については、１５時間から３０時間の授業をもって１単位とする。

（２）　実習については３０時間から４５時間の授業をもって１単位とする。

（１年間の授業期間）

第２４条　１年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め３５週とすることを原則とする。

（単位の授与）

第２５条　授業科目を履修し、その試験に合格した者に、担当の教員は所定の単位を与える。

２　前項の試験は、当該授業科目を履修した者でなければ、受けることができない。

（成績の評価）

第２６条　成績の評価は、優、良、可及び不可の４段階をもって表示し、優、良及び可を合格とする。

（試験の種類）

第２７条　各授業科目の試験は、定期試験、追試験、再試験及び臨時試験等とする。

（入学前及び在学時における他大学等での既修得単位等の認定）

第２８条　学長は教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学等で履修した授業科目について修得した単位（大学等で科目等履修生として修得した単位を含む）を、該当する授業科目を本学において履修及び修得したものと見なし、単位を与えることができる。

２　学長は教育上有益と認めるときは、あらかじめ他の大学等と協議の上、学生が授業科目を履修することを認め、その履修した授業科目について修得した単位は本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

３　前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、第１６条の編入学、第１７条の転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、６０単位を超えないものとする。

（教職に関する免許）

第２８条の２　本学の学部学科において取得できる教育職員の免許状の種類及び教科免許は、次のとおりとする。

学部	学科等	免許状の種類	教科の種類

保健医療学部	鍼灸学科スポーツ特修コース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	保健体育 保健体育
保健医療学部	看護学科	養護教諭一種免許状	養護

２　前項の免許の資格を得たい者は、第２５条に基づく単位修得のほか、別表第２の鍼灸学科スポーツ特修コースの教育課程及び別表第４の看護学科の教育課程及び別表第８の教職に関する科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。

３　前項の所定の単位の修得に関し必要な事項は別に定める。

第八章　休学、復学、転学、退学及び除籍

（休学）

第２９条　疾病その他やむを得ない事情により３ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

２　休学の期間は１年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合において、学長の許可を得たときは、この限りでない。

３　休学の期間は通算して４年を超えることはできない。

４　休学の期間は第１０条に規定する在学年限に算入しない。

（復学）

第３０条　休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

（転学）

第３１条　本学への在学期間中、他の大学等への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

（退学）

第３２条　退学しようとするものは、学長の許可を受けなければならない。

（除籍）

第３３条　次の各号に該当する者は、学長が除籍することができる。

（１）　第１０条の規定により定められた在学年限を超えた者

（２）　第２９条の規定により定められた休学期間を超えて、なお復学することができない者

（３）　授業料を納入しない者
（４）　死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者
２　前項（３）により除籍となった者が、所定の期日内に学費を納付した場合、復籍を認めることがある。

第九章　卒業及び学位

（卒業）
第３４条　本学に４年（第１６条、第１７条、第１８条の規定により入学したものについては、第１９条の規定により定められた在学すべき年数）以上在学し、所定の授業科目を履修し、単位を修得した者については、教授会の意見を聴き、学長が卒業を認定する。
２　学長は、前項の卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

（学位の授与）
第３５条　学長は、第３４条１項により卒業を認定した者に次の学位を授与する。

学部	学科	学位
保健医療学部	鍼灸学科	学士（鍼灸学）
	理学療法学科	学士（理学療法学）
	看護学科	学士（看護学）
	臨床検査学科	学士（臨床検査学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
	臨床工学科	学士（臨床工学）

第十章　科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴講生及び外国人留学生

（科目等履修生）
第３６条　本学において、一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、学長は選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

（研究生）
第３７条　本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、学長は選考の上、入学を許可することができる。
２　研究生となることを志願することができる者は大学を卒業した者又はこれと同等以上の能力があると学長が認めた者とする。

（聴講生）

第３８条　本学において、特定の授業科目について聴講を志願するものがあるときは、学長は選考の上、入学を許可することができる。

（特別聴講生）

第３８条の２ 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。以下この条において同じ）の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、学長は、特別聴講生として入学を許可することができる。

（外国人留学生）

第３９条　外国人で、本学に入学を志願する者があるときは、学長は選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

第十一章　職員組織

（職員）

第４０条　本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員及びその他の必要な職員を置く。

２　学長が必要と認めた場合には副学長を置くことができる。

（各組織の長）

第４１条　本学に、学長のほか、事務局長、研究科長、学部長、専攻科長、学科長、附属臨床実習施設長、及び附属図書館長等を置く。

（学長等の職務）

第４２条　学長は本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

２　事務局長は、本学の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

３　研究科長は、本学の教授をもって充て、大学院の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理する。

４　専攻科長は、本学の教授をもって充て、専攻科の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理する。

５　学部長は、本学の教授をもって充て、保健医療学部の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理する。

６　学科長は、各学科の教授をもって充て、学部長の命を受け、各学科の運営に関する連絡調整を行う。

７　附属臨床実習施設長は、本学の教授をもって充て、附属臨床実習の活動に関する事項を掌理する。

８　附属図書館長は、本学の教職員をもって充て、附属図書館に関する事項を掌理する。

第十二章　教授会、各種委員等

（教授会）

第４３条　本学の学生の入学、卒業及び課程の修了、学位授与その他教育研究に関する重要な事項を審議するため、教授会を置く。

２　教授会は、学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

３　教授会は理事長、法人本部長、学長、副学長、教授、准教授、講師及び事務局長をもって組織する。

（専門委員会）

第４４条　本学に、専門事項を審議する専門委員会を置く。

２　専門委員会は学長の付託を受け専門事項を審議する。

３　専門委員会に関し、必要な事項は別に定める。

第十三章　入学検定料、入学料、授業料等

（授業料等の金額）

第４５条　本学の入学検定料、入学料、授業料、教育充実費の納入額は別表第９のとおりとする。

（授業料等の納付）

第４６条　本学の学生の授業料等は４月１日から９月３０日までを前期、１０月１日から翌年３月３１日までを後期とし、その年額の２分の１に相当する額を、学長が指定した日までに納付しなければならない。

２　経済的事由により授業料等の納付が困難であって、学業優秀と認められた者その他やむを得ない事情があると認められた者については、授業料等の全部若しくは一部の納付を免除し、又はその徴収を猶予することができる。

３　第２９条により休学を認められた学生の学納金は、各学期の授業料の５分の１とする。

第十四章　賞罰

（表彰）

第４７条　学長は、表彰に値する行為があった学生を表彰することができる。

（懲戒）

第４８条　学長は、本学の学則その他学生に関する諸規定に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者に対して、懲戒することができる。

２　前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

３　前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うことができる。

（１）　性行不良で改善の見込みがないと認められる者

（２）　学業を怠り卒業の見込みがないと認められる者

（３）　正当な理由がなくて出席が常でない者

（４）　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第十五章　大学開放及び生涯学習事業

（大学開放）

第４９条　本学は、教育研究上の支障のない限りにおいて、その教育研究施設及び設備を積極的に開放する。

（生涯学習事業）

第５０条　本学は、地域社会の発展に寄与するため、生涯学習事業をとおして本学の教育研究資源の地域社会への還元に積極的に努めるものとする。

第十六章　雑則

（雑則）

第５１条　この学則に定めるもののほか、この学則の施行に関し必要な事項は学長が別に定める。

附　則

１　この学則は平成１９年４月１日から施行する。ただし、第１２条、第１３条、第１４条、第１５条、第４５条、第４６条の規定は、文部科学大臣が本学の設置を認可した日より施行する。

２　第４条第２項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成19年度	120人				120人
平成20年度	120 人	120 人			240人
平成21年度	120 人	120 人	120 人		360人
平成22年度	120 人	120 人	120 人	120 人	480人

３　この学則は平成２３年４月１日から施行する。

４　第４条第２項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成23年度	200人	120人	120人	120人	560人
平成24年度	200 人	200 人	120人	120人	640人
平成25年度	200 人	200 人	200 人	120人	720人
平成26年度	200 人	200 人	200 人	200 人	800人

５　平成２３年３月３１日に在学する者については、従前の規定を適用する。

６　この学則は平成２４年４月１日から施行する。ただし、平成２４年３月３１日に在学する者については、従前の規定を適用する。

７　この学則は平成２５年４月１日から施行する。

８　この学則は平成２７年４月１日から施行する。

９　第４条第２項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成28年度	300人	200人	200人	200人	900人
平成29年度	300 人	300 人	200人	200人	1000人
平成30年度	300 人	300 人	300 人	200人	1100人
平成31年度	300 人	300 人	300 人	300 人	1200人

１０　この学則は平成２８年４月１日から施行する。ただし、平成２８年３月３１日に在学する者については、従前の規定を適用する。

１１　この学則は平成２９年４月１日から施行する。ただし、平成２９年３月３１日に在学する者については、従前の規定を適用する。

１２　この学則は平成３０年４月１日から施行する。

１３　第４条第２項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替

えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成30年度	380人	300人	300人	200人	1180人
平成31年度	380 人	380 人	300人	300人	1360人
平成32年度	380 人	380 人	380 人	300人	1440人
平成33年度	380 人	380 人	380 人	380 人	1520人

別表第1

鍼灸学科　鍼灸コース　教育課程

区分			授業科目	単位数
教養科目群		科学的思考	基礎ゼミナール	2
			物理学	2
			生物学	2
			化学	2
			情報処理	2
			統計学	2
		人間理解と社会	心理学	2
			生命倫理学	2
			哲学	2
			社会福祉学	2
			日本国憲法	2
			東洋史概説	2
			西洋史概説	2
		語学	英語Ⅰ（初級）	2
			英語Ⅱ（中級）	2
			英会話	2
			医学英語	2
			基礎英語演習	2
			応用英語演習	2
学部共通科目群		保健医療	スポーツ健康科学演習	2
			健康科学（スポーツ社会学を含む）	2
			健康管理学Ⅰ	2
			健康管理学Ⅱ	2
			チーム医療とコミュニケーション	2
			栄養学	2
			身体運動科学	2
			東洋医療概論	2
			統合医療概論	2
			IPW論	1
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ（骨・筋）	4
			解剖学Ⅱ（神経）	2
			解剖学Ⅲ（内臓・脈管）	2
			生理学Ⅰ（動物生理学）	2
			生理学Ⅱ（植物生理学）	2
			生理学Ⅲ（応用生理学）	2
			運動学	2
			生化学	2
		疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進	病理学	2
			臨床医学総論	2
			整形外科学	2
			内科学	2
			臨床医学各論Ⅰ	2
			臨床医学各論Ⅱ	2
			臨床医学各論Ⅲ	2
			スポーツ医学	2
			リハビリテーション医学	2
			画像診断学	2
		保健医療福祉とはり及びきゅうの理念	衛生学公衆衛生学	2
			保健医療倫理	1
	専門科目	基礎はりきゅう学	経絡経穴学Ⅰ	1
			経絡経穴学Ⅱ	1
			経穴局所解剖演習Ⅰ	1
			経穴局所解剖演習Ⅱ	1
			鍼灸科学概論Ⅰ	1
			鍼灸科学概論Ⅱ	1
			東洋医学概論Ⅰ	1
			東洋医学概論Ⅱ	1
			東洋医学概論Ⅲ	1

区分			授業科目	単位数
学科専門科目群	専門科目	臨床はりきゅう学	鍼灸安全学	1
			臨床生理学	1
			臨床鍼灸学	1
			生体観察	1
			運動機能検査法	1
			現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）	2
			現代医学系鍼灸学Ⅱ（整形外科系）	2
			現代医学系鍼灸学Ⅲ（内科系）	1
			東洋医学系検査法	1
			東洋医学各論Ⅰ	1
			東洋医学各論Ⅱ	1
		社会はりきゅう学	鍼灸経営論	1
			関係法規	1
		実習	基礎鍼実技Ⅰ	1
			基礎鍼実技Ⅱ	1
			基礎灸実技Ⅰ	1
			基礎灸実技Ⅱ	1
			応用鍼灸実技Ⅰ	1
			応用鍼灸実技Ⅱ	1
			現代医学系鍼灸学実習Ⅰ	1
			現代医学系鍼灸学実習Ⅱ	1
			現代医学系鍼灸応用実習	1
			東洋医学系鍼灸実習Ⅰ	1
			東洋医学系鍼灸実習Ⅱ	1
			東洋医学系鍼灸応用実習	1
			応用鍼灸治療学	1
			臨床灸実習	1
			特殊鍼灸治療学	1
		実習 臨床	附属施術所基礎実習	2
			附属施術所応用実習	2
		総合領域	キャリアデザイン	1
			鍼灸総合演習Ⅰ	2
			鍼灸総合演習Ⅱ	2
			鍼灸総合演習Ⅲ	2
			卒業研究Ⅰ	1
			卒業研究Ⅱ	1
			学外見学実習Ⅰ	1
			学外見学実習Ⅱ	1
		専門領域	美容鍼灸学総論	1
			テーピング技術論	1
			コンディショニング技術論	1
			スポーツ鍼灸学総論	1
			スポーツ鍼灸学各論	1
			介護学概論	1
			老年ケア演習	1
			美容鍼灸学各論Ⅰ	1
			美容鍼灸学各論Ⅱ	1
			応用鍼灸学Ⅰ	1
			応用鍼灸学Ⅱ	1
			スポーツ経営学	1
卒業要件（最低必要単位数）				124

別表第2

鍼灸学科　スポーツ特修コース　教育課程

区分			授業科目	単位数
教養科目群		科学的思考	基礎ゼミナール	2
			物理学	2
			生物学	2
			化学	2
			情報処理	2
			統計学	2
		人間理解と社会	心理学	2
			生命倫理学	2
			哲学	2
			社会福祉学	2
			日本国憲法	2
			東洋史概説	2
			西洋史概説	2
		語学	英語Ⅰ（初級）	2
			英語Ⅱ（中級）	2
			英会話	2
			医学英語	2
			基礎英語演習	2
			応用英語演習	2
学部共通科目群		保健医療	スポーツ健康科学演習	2
			健康科学（スポーツ社会学を含む）	2
			健康管理学Ⅰ	2
			健康管理学Ⅱ	2
			チーム医療とコミュニケーション	2
			栄養学	2
			身体運動科学	2
			東洋医療概論	2
			統合医療概論	2
			IPW論	1
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ（骨・筋）	4
			解剖学Ⅱ（神経）	2
			解剖学Ⅲ（内臓・脈管）	2
			生理学Ⅰ（動物生理学）	2
			生理学Ⅱ（植物生理学）	2
			生理学Ⅲ（応用生理学）	2
			運動学	2
			生化学	2
		疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進	病理学	2
			臨床医学総論	2
			整形外科学	2
			内科学	2
			臨床医学各論Ⅰ	2
			臨床医学各論Ⅱ	2
			臨床医学各論Ⅲ	2
			スポーツ医学	2
			リハビリテーション医学	2
			画像診断学	2
		保健医療福祉とはり及びきゅうの理念	衛生学公衆衛生学	2
			保健医療倫理	1
	専門科目	基礎はりきゅう学	経絡経穴学Ⅰ	1
			経絡経穴学Ⅱ	1
			経穴局所解剖演習Ⅰ	1
			経穴局所解剖演習Ⅱ	1
			鍼灸科学概論Ⅰ	1
			鍼灸科学概論Ⅱ	1
			東洋医学概論Ⅰ	1
			東洋医学概論Ⅱ	1
			東洋医学概論Ⅲ	1
		臨床はりきゅう学	鍼灸安全学	1
			臨床生理学	1
			臨床鍼灸学	1
			生体観察	1
			運動機能検査法	1
			現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）	2
			現代医学系鍼灸学Ⅱ（整形外科系）	2
			現代医学系鍼灸学Ⅲ（内科系）	1
			東洋医学系検査法	1
			東洋医学各論Ⅰ	1
			東洋医学各論Ⅱ	1
		社会はりきゅう学	鍼灸経営論	1
			関係法規	1

区分			授業科目	単位数
学科専門科目群	専門科目	実習	基礎鍼実技Ⅰ	1
			基礎鍼実技Ⅱ	1
			基礎灸実技Ⅰ	1
			基礎灸実技Ⅱ	1
			応用鍼灸実技Ⅰ	1
			応用鍼灸実技Ⅱ	1
			現代医学系鍼灸学実習Ⅰ	1
			現代医学系鍼灸学実習Ⅱ	1
			現代医学系鍼灸応用実習	1
			東洋医学系鍼灸実習Ⅰ	1
			東洋医学系鍼灸実習Ⅱ	1
			東洋医学系鍼灸応用実習	1
			応用鍼灸治療学	1
			臨床灸実習	1
			特殊鍼灸治療学	1
		実臨習床	附属施術所基礎実習	2
			附属施術所応用実習	2
		総合領域	キャリアデザイン	1
			鍼灸総合演習Ⅰ	2
			鍼灸総合演習Ⅱ	2
			鍼灸総合演習Ⅲ	2
			運動生理学	2
			運動生理機能学演習	2
			卒業研究Ⅰ	1
			卒業研究Ⅱ	1
			学外見学実習Ⅰ	1
			学外見学実習Ⅱ	1
		保健体育	スポーツ実習Ⅰ体つくり運動	1
			スポーツ実習Ⅱサッカー	1
			スポーツ実習Ⅲ陸上競技	1
			スポーツ実習Ⅳ柔道	1
			スポーツ実習Ⅴダンス	1
			スポーツ実習Ⅵ器械運動	1
			スポーツ実習Ⅶ水泳	1
			スポーツ実習Ⅷ生涯スポーツ	1
			学校保健（小児保健・精神保健）	2
			学校保健（学校安全・救急処置）	2
			トレーニング科学演習Ⅰ（レジスタンスエクササイズ1）	1
			トレーニング科学演習Ⅱ（エアロビックダンス・ウォーキング・ジョギング）	1
			トレーニング科学演習Ⅲ（レジスタンスエクササイズ2・水中運動）	1
			トレーニング科学演習Ⅳ（指導実習）	1
			体力トレーニング論	2
			テーピング技術論	1
			スポーツバイオメカニクス	2
			介護学概論	1
			老年ケア演習	1
			体育原理	2
			スポーツ心理学	2
			スポーツ鍼灸学総論	1
			スポーツ鍼灸学各論	1
			スポーツ傷害学・栄養学	2
			スポーツ経営学	1
卒業要件（最低必要単位数）				140

別表第3

理学療法学科　教育課程

区分			授業科目	単位数
教養科目群		科学的思考	基礎ゼミナール	2
			物理学	2
			生物学	2
			化学	2
			情報処理	2
			統計学	2
		人間理解と社会	心理学	2
			生命倫理学	2
			哲学	2
			社会福祉学	2
			日本国憲法	2
			東洋史概説	2
			西洋史概説	2
		語学	英語Ⅰ（初級）	2
			英語Ⅱ（中級）	2
			英会話	2
			医学英語	2
			基礎英語演習	2
			応用英語演習	2
学部共通科目群		保健医療	スポーツ健康科学演習	2
			健康科学（スポーツ社会学を含む）	2
			健康管理学Ⅰ	2
			健康管理学Ⅱ	2
			チーム医療とコミュニケーション	2
			栄養学	2
			身体運動科学	2
			東洋医療概論	2
			統合医療概論	2
			IPW論	1
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造演習Ⅰ（運動器）	1
			人体の構造演習Ⅱ（運動器）	1
			人体の構造Ⅰ（神経系）	2
			人体の構造Ⅱ（循環・内臓）	2
			人体の構造実習	1
			人体の機能Ⅰ（動物性機能）	2
			人体の機能Ⅱ（植物性機能）	2
			基礎運動学	1
			臨床運動学	1
			運動学実習	1
			臨床心理学	1
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション概論	1
			公衆衛生学	2
			生化学	2
			病理学	2
			臨床病態学Ⅰ	2
			臨床病態学Ⅱ	2
			臨床病態学Ⅲ	2
			整形外科学	2
			小児科学（人間発達学）	2
			精神医学	2
			リハビリテーション医学	2
			作業療法・芸術療法論	2
			言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	2
			介護学概論・ボランティア活動論	1
			スポーツ医学	2
			テーピング技術論	1

区分			授業科目	単位数
学科専門科目群	専門科目	基礎理学療法学	医療関係法規論	2
			理学療法触診法	1
			基礎理学療法学Ⅰ	1
			基礎理学療法学Ⅱ	1
			基礎理学療法学演習	1
		理学療法評価学	理学療法評価学総論	1
			理学療法評価学各論	2
			臨床理学療法評価学（動作分析）	1
			臨床理学療法評価学演習	1
		理学療法治療学	基礎日常生活活動学	1
			基礎運動療法学総論	1
			基礎運動療法学各論	1
			物理療法学	1
			運動器系理学療法学Ⅰ	1
			運動器系理学療法学Ⅱ	2
			運動器系理学療法学Ⅲ	1
			神経系理学療法学Ⅰ	1
			神経系理学療法学Ⅱ	2
			神経系理学療法学Ⅲ	1
			内部障害系理学療法学Ⅰ	1
			内部障害系理学療法学Ⅱ	2
			内部障害系理学療法学Ⅲ	1
			発達障害理学療法学	1
			義肢装具学	2
			臨床理学療法治療学演習	1
		地域理学療法学	地域理学療法学	2
			生活環境論	1
			老年期理学療法学	1
		総合領域	理学療法特論Ⅰ	1
			理学療法特論Ⅱ	1
			理学療法特論Ⅲ	2
			運動器系理学療法セミナー	1
			神経系理学療法セミナー	1
			内部障害系理学療法セミナー	1
			地域理学療法セミナー	1
		卒業研究	卒業研究Ⅰ	2
			卒業研究Ⅱ	2
		臨床実習	臨床見学実習	1
			検査測定実習	1
			臨床評価実習	4
			臨床総合実習Ⅰ	7
			臨床総合実習Ⅱ	7
卒業要件（最低必要単位数）				125

別表第4

看護学科教育課程

区分			授業科目	単位数
教養科目群		科学的思考	基礎ゼミナール	2
			物理学	2
			生物学	2
			化学	2
			情報処理	2
			統計学	2
		人間理解と社会	心理学	2
			生命倫理学	2
			哲学	2
			社会福祉学	2
			日本国憲法	2
			東洋史概説	2
			西洋史概説	2
		語学	英語Ⅰ（初級）	2
			英語Ⅱ（中級）	2
			英会話Ⅰ	2
			医学英語	2
			基礎英語演習	2
			応用英語演習	2
学部共通科目群		保健医療	スポーツ健康科学演習	2
			健康科学（スポーツ社会学を含む）	2
			健康管理学Ⅰ	2
			健康管理学Ⅱ	2
			チーム医療とコミュニケーション	2
			栄養学	2
			身体運動科学	2
			東洋医療概論	2
			統合医療概論	2
			IPW論	1
学科専門科目群	専門基礎分野	人体の構造と機能	形態機能学Ⅰ	1
			形態機能学Ⅱ	1
			形態機能学Ⅲ	1
			形態機能学Ⅳ	1
			フィジカルアセスメント	2
			生化学	2
			発達心理学	2
		疾病の成り立ちと回復の促進	微生物学	1
			病理学	1
			臨床薬理学	1
			臨床病態学Ⅰ	1
			臨床病態学Ⅱ	1
			臨床病態学Ⅲ	1
			臨床病態学Ⅳ	1
			臨床病態学Ⅴ	1
			臨床心理学	2
		健康支援と社会保障制度	医療概論	1
			公衆衛生学	2
			看護関係法規	2
			保健統計学	2
			疫学	2

区分			授業科目	単位数
学科専門科目群	専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	1
			看護理論	2
			生活援助論Ⅰ	2
			生活援助論Ⅱ	2
			診療援助論Ⅰ	2
			診療援助論Ⅱ	2
			看護過程演習	1
		臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1
			基礎看護学実習Ⅱ	2
	専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論	2
			成人看護援助論Ⅰ	1
			成人看護援助論Ⅱ	1
			成人看護援助論Ⅲ	1
			成人看護援助論Ⅳ	1
		老年看護学	老年看護学概論	2
			老年看護援助論Ⅰ	1
			老年看護援助論Ⅱ	1
		母性看護学	母性看護学概論	2
			母性看護援助論Ⅰ	1
			母性看護援助論Ⅱ	1
		小児看護学	小児看護学概論	2
			小児看護援助論Ⅰ	1
			小児看護援助論Ⅱ	1
		精神看護学	精神看護学概論	2
			精神看護援助論Ⅰ	1
			精神看護援助論Ⅱ	1
		臨地実習	成人看護学実習Ⅰ（急性）	3
			成人看護学実習Ⅱ（慢性）	3
			老年看護学実習Ⅰ	3
			老年看護学実習Ⅱ	1
			母性看護学実習	2
			小児看護学実習	2
			精神看護学実習	2
	統合分野	在宅看護論	在宅看護概論	2
			在宅看護援助論Ⅰ	1
			在宅看護援助論Ⅱ	1
			外来看護論	1
		看護の統合と実践Ⅰ	健康教育論	2
			家族看護学	1
			看護管理論	1
			災害・国際看護論	1
			養護概説	2
			学校保健	2
			健康相談活動論	2
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2
			公衆衛生看護学演習	2
			公衆衛生看護活動論Ⅰ	2
			公衆衛生看護活動論Ⅱ	2
			公衆衛生看護活動論Ⅲ	2
			公衆衛生看護活動論Ⅳ	2
			公衆衛生看護管理論	2
			保健医療福祉行政論	2
		臨地実習	在宅看護論実習	2
			公衆衛生看護学実習	4
			主題実習Ⅰ	2
			主題実習Ⅱ	1
		卒業研究	看護研究	1
			卒業研究	2
		看護の統合と実践Ⅱ	臨床看護学セミナーⅠ	2
			臨床看護学セミナーⅡ	2
			公衆衛生看護セミナー	1
			臨床看護技術セミナー	1
卒業要件（最低必要単位数）				124

別表第5

臨床検査学科　教育課程

区分		授業科目	単位数
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2
		物理学	2
		生物学	2
		情報処理	2
	人間理解と社会	心理学	2
		生命倫理学	2
		哲学・宗教学	2
		社会福祉学	2
		日本国憲法	2
		統計学	2
	語学	英語Ⅰ（初級）	2
		英語Ⅱ（中級）	2
		医学英語Ⅰ	2
		医学英語Ⅱ	2
		英会話Ⅰ	2
		英会話Ⅱ	2
学部共通科目群	保健医療	スポーツ健康科学演習	2
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	2
		東洋思想史	2
		生化学	2
		健康管理学Ⅰ	2
		健康管理学Ⅱ	2
		チーム医療とコミュニケーション	2
		栄養学	2
		身体運動科学	2
		漢方医学概論	2
		統合医療概論	2
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造と機能	人体の構造Ⅰ	2
			人体の構造Ⅱ	2
			人体の構造実習	1
			人体の機能Ⅰ	2
			人体の機能Ⅱ	2
			生化学各論	2
			生化学実習	1
			分析化学	2
			小児医学	2
			老年医学	2
			救急災害医学	2
			薬理学	2
			リハビリテーション概論	2
		医学検査とその基礎と疾病との関連	臨床検査学総論	2
			検査技術科学序論	2
			病理学	2
		保健医療福祉と医学検査	医学概論	2
			公衆衛生学	2
			IPW論	1
		医療工学	医用工学概論	2
			医用工学実習	1

区分			授業科目	単位数
学科専門科目群	専門科目	臨床病態学	臨床病態学Ⅰ	2
			臨床病態学Ⅱ	2
		形態検査学	血液検査学Ⅰ	2
			血液検査学Ⅱ	2
			血液検査学実習	1
			病理検査学	2
			病理検査学実習	1
			一般検査学	1
		生物化学分析検査学	臨床化学検査学Ⅰ	2
			臨床化学検査学Ⅱ	2
			臨床化学検査学実習	1
			放射性同位元素検査学	1
			遺伝子検査学	2
			遺伝子検査学実習	1
			バイオテクノロジー演習	1
		病因・生体防御検査学	微生物検査学Ⅰ	2
			微生物検査学Ⅱ	2
			微生物検査学実習	1
			寄生虫検査学	1
			免疫検査学Ⅰ	2
			免疫検査学Ⅱ	2
			免疫検査学実習	1
			輸血・移植検査学	2
			輸血・移植検査学実習	1
		生理機能検査学	生理機能検査学Ⅰ	2
			生理機能検査学Ⅱ	2
			生理機能検査学Ⅲ	2
			生理機能検査学実習	1
			画像検査学	2
			超音波検査学Ⅰ	1
			超音波検査学Ⅱ	1
		検査総合管理学	検査総合管理学	2
			医療情報科学	2
			関係法規	1
		医療安全管理学	医療安全管理学	1
		総合領域	臨床薬理学	2
			食品衛生学	1
			食品関係法規	1
			総合演習Ⅰ	2
			総合演習Ⅱ	2
			総合演習Ⅲ	2
		卒業研究	卒業研究Ⅰ	2
			卒業研究Ⅱ	2
		臨地実習	臨地実習	7
卒業要件（最低必要単位数）				125

別表第6

作業療法学科教育課程

区分		授業科目	単位数
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2
		物理学	2
		生物学	2
		情報処理	2
	人間理解と社会	心理学	2
		生命倫理学	2
		哲学・宗教学	2
		社会福祉学	2
		日本国憲法	2
		統計学	2
	語学	英語Ⅰ（初級）	2
		英語Ⅱ（中級）	2
		医学英語Ⅰ	2
		医学英語Ⅱ	2
		英会話Ⅰ	2
		英会話Ⅱ	2
学部共通科目群	保健医療	スポーツ健康科学演習	2
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	2
		東洋思想史	2
		生化学	2
		健康管理学Ⅰ	2
		健康管理学Ⅱ	2
		チーム医療とコミュニケーション	2
		栄養学	2
		身体運動科学	2
		漢方医学概論	2
		統合医療概論	2
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造演習（運動器）	2
			人体の構造Ⅰ（循環・内臓）	2
			人体の構造Ⅱ（神経系）	2
			人体の構造実習	1
			人体の機能Ⅰ（動物性機能）	2
			人体の機能Ⅱ（植物性機能）	2
			基礎運動学	2
			臨床運動学	1
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション概論	1
			公衆衛生学	2
			病理学	2
			内科学Ⅰ	2
			内科学Ⅱ	2
			救急処置法	2
			脳神経外科学	2
			整形外科学	2
			小児科学（人間発達学）	2
			精神医学	2
			精神医学各論	2
			臨床心理学	2
			老年医学	1
			リハビリテーション医学	1
			医療関係法規論	2
			理学療法概論	1
			芸術療法論	1
			言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	2
			介護学概論・ボランティア活動論	2
			スポーツ医学	2
			漢方医学各論	2
			東洋医学概論Ⅰ	1
			東洋医学概論Ⅱ	1
			IPW論	1

区分			授業科目	単位数
学科専門科目群	専門科目	基礎作業療法学	基礎作業学	2
			作業科学入門	2
			作業療法概論	2
		作業療法評価学	作業療法評価学総論	2
			身体障害作業療法評価学	2
			精神障害作業療法評価学	1
			発達障害作業療法評価学	1
			高次脳機能障害作業療法評価学	1
		作業療法治療学	日常生活活動学	2
			身体障害作業療法治療学総論	2
			精神障害作業療法治療学総論	2
			老年期障害作業療法治療学総論	2
			発達障害作業療法治療学総論	2
			身体障害作業療法治療学各論	2
			精神障害作業療法治療学各論	2
			発達障害作業療法治療学各論	1
			老年期障害療法作業治療学各論	1
			義肢装具学	1
			作業療法特論Ⅰ	1
			作業療法特論Ⅱ	1
			身体障害作業療法治療学演習	1
			精神障害作業療法治療学演習	1
			老年期障害作業療法治療学演習	1
			発達障害作業療法治療学演習	1
		地域作業療法学	地域作業療法学	2
			生活環境論	1
			障害者地域生活支援論	1
		卒業研究	卒業研究Ⅰ	2
			卒業研究Ⅱ（身体障害）	2
			卒業研究Ⅱ（精神障害）	2
			卒業研究Ⅱ（老年期障害・地域）	2
			卒業研究Ⅱ（発達障害）	2
		臨床実習	臨地見学実習	1
			臨床検査実習	2
			臨床評価実習	4
			臨床総合実習	16
卒業要件（最低必要単位数）				126

別表第7

臨床工学科　教育課程

区分			授業科目	単位数
教養科目群		科学的思考	基礎ゼミナール	2
			物理学	2
			生物学	2
			化学	2
			情報処理	2
			統計学	2
		人間理解と社会	心理学	2
			生命倫理学	2
			哲学	2
			社会福祉学	2
			日本国憲法	2
			東洋史概説	2
			西洋史概説	2
		語学	英語Ⅰ（初級）	2
			英語Ⅱ（中級）	2
			英会話	2
			医学英語	2
			基礎英語演習	2
			応用英語演習	2
学部共通科目群		保健医療	スポーツ健康科学演習	2
			健康科学（スポーツ社会学を含む）	2
			健康管理学Ⅰ	2
			健康管理学Ⅱ	2
			チーム医療とコミュニケーション	2
			栄養学	2
			身体運動科学	2
			東洋医療概論	2
			統合医療概論	2
			IPW論	1
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造及び機能	医学概論	1
			公衆衛生学	2
			人体の構造Ⅰ	2
			人体の構造Ⅱ	1
			人体の機能Ⅰ	2
			人体の機能Ⅱ	1
		臨床工学に必要な医学的基礎	生化学	2
			病理学	2
			免疫学	2
			薬理学	2
			看護学概論	1
			基礎医学実習	1
		臨床工学に必要な理工学的基礎	医用工学	2
			数学演習	1
			応用数学	2
			応用物理学	1
			応用化学	1
			電気工学Ⅰ	2
			電気工学Ⅱ	2
			電気工学実習	1
			電子工学Ⅰ	2
			電子工学Ⅱ	2
			電子工学実習	1
			放射線工学概論	1
		臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	情報処理工学	2
			医療統計学	2
			システム制御工学	2
			情報処理・システム制御工学実習	1

区分			授業科目	単位数
学科専門科目群	専門科目	医用生体工学	生体物性工学	2
			生体材料工学	2
			バイオメカニクス	2
			バイオレオロジー	1
			計測工学	1
			生体情報処理工学	2
		医用機器学	医用機器学概論	2
			生体計測装置学	2
			生体計測装置学実習	1
			医用治療機器学	2
			医用治療機器学実習	1
			画像診断装置学	2
			医用監視システム装置学	2
		生体機能代行装置学	体外循環装置学	1
			体外循環療法学	2
			体外循環実習	1
			血液浄化装置学	1
			血液浄化療法学	2
			血液浄化実習	1
			人工呼吸装置学	1
			人工呼吸療法学	2
			人工呼吸実習	1
			人体機能補助装置学	1
			人体機能補助療法学	2
			人体機能補助実習	1
		医用安全管理学	医用機器安全管理学	2
			医用機器安全管理学実習	1
			関係法規	2
		関連臨床医学	臨床医学総論（内科学・外科学）	2
			内科学各論（循環器・呼吸器・腎・感染症）	2
			外科学各論（循環器・呼吸器・泌尿器・麻酔・集中治療学）	2
			臨床医学演習	1
		臨床実習	臨床実習	4
	専門特講	臨床工学技術特講	医用生体工学特講	1
			医用機器学特講	1
			生体機能代行技術特講	1
			関連臨床医学特講	1
			基礎工学特講	1
	研究分野	先進科学技術	先進科学技術論	1
			先進計測技術学	1
			先進治療技術学	1
			機能評価分析学	1
			機能評価学演習	1
			医療情報システム学	1
			医療情報システム学演習	1
			医用ロボット工学	1
			遺伝子検査学	1
			先進科学技術演習	1
		卒業研究	卒業研究Ⅰ	2
			卒業研究Ⅱ	2
卒業要件（最低必要単位数）				124

別表第8

教職に関する科目　教育課程

区分	授業科目	単位数
教職に関する科目	教職論	2
	教育原理	2
	教育心理学	2
	教育行政学	2
	教育課程論	2
	保健体育科教育法Ⅰ	2
	保健体育科教育法Ⅱ	2
	保健体育科教育法Ⅲ	2
	保健体育科教育法Ⅳ	2
	道徳教育論	2
	特別活動論	2
	教育方法論	2
	生徒指導論	2
	生徒指導論（養護教諭）	2
	教育相談の基礎と方法	2
	教育実習事前事後指導	1
	教育実習Ⅰ	2
	教育実習Ⅱ	2
	養護実習（事前事後指導含む）	5
	教職実践演習（中・高）	2
	教職実践演習（養護教諭）	2

別表第9

（単位：円）

学部名 学科名	学　年	入学料	授業料	教育充実費	合計	入学検定料
保健医療学部 鍼灸学科	１年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000
	２年次		900,000	680,000	1,580,000	
	３年次		900,000	680,000	1,580,000	
	４年次		900,000	680,000	1,580,000	
保健医療学部 理学療法学科	１年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000
	２年次		900,000	680,000	1,580,000	
	３年次		900,000	680,000	1,580,000	
	４年次		900,000	680,000	1,580,000	
保健医療学部 看護学科	１年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000
	２年次		900,000	680,000	1,580,000	
	３年次		900,000	680,000	1,580,000	
	４年次		900,000	680,000	1,580,000	
保健医療学部 臨床検査学科	１年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000
	２年次		900,000	680,000	1,580,000	
	３年次		900,000	680,000	1,580,000	
	４年次		900,000	680,000	1,580,000	
保健医療学部 作業療法学科	１年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000
	２年次		900,000	680,000	1,580,000	
	３年次		900,000	680,000	1,580,000	
	４年次		900,000	680,000	1,580,000	
保健医療学部 臨床工学科	１年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000
	２年次		900,000	680,000	1,580,000	
	３年次		900,000	680,000	1,580,000	
	４年次		900,000	680,000	1,580,000	